

8. 医薬品創出の基盤強化に向けて

新独法一元化対象経費 要求額 197.7億円(一部再掲)
平成26年度予算 要望額 12.1億円
(平成25年度予算額:127.0億円)

インハウス 要求額 36.1億円
平成26年度予算 要望額 58.5億円
(平成25年度予算額:35.4億円) ※推計値

文科省、厚労省、経産省が連携して推進

資料4

【2015年度までの達成目標】

○相談・シーズ評価 400件
○有望シーズへの創業支援 40件
○企業への導出(ライセンスアウト) 1件 ※件数はいずれも累計

【2020年頃までの達成目標】

○相談・シーズ評価 1500件
○有望シーズへの創業支援 200件
○企業への導出(ライセンスアウト) 5件 ※件数はいずれも累計

＜創業支援ネットワーク等の支援基盤＞

創業支援ネットワーク：創業支援ネットワーク協議会・実務担当者会議による強固な連携・協力体制を形成

※インハウス予算は推計値

【理化学研究所の取組】

インハウス
平成26年度予算 要求額 12.0億円
要望額 34.5億円
(平成25年度予算額:12.0億円)

・SACLA、SPRING-8、京コンピュータ等の研究基盤を利用した探索研究及び最適化研究の支援※

※探索研究から最適化研究を経て権利化し、企業へ導出するまでの一貫した創業プロセスを実現

・創業テーマの推進
・高度な基盤技術の開発等

【医薬基盤研究所の取組】

インハウス 平成26年度予算 要求額 4.4億円
要望額 24.0億円
(平成25年度予算額:4.4億円)

創業支援戦略室:
創業支援ネットワークの本部機能

・有望シーズの調査、評価、選定
・出口戦略の策定、助言
・応用研究等の支援
・知財管理支援
・企業連携支援 等

民間研究機関等の
創業連携研究機関

【産業技術総合研究所の取組】

インハウス 平成26年度予算 要求額 19.7億円
(平成25年度予算額:19.0億円)

計測基盤技術・ツールを用いた
探索研究及び最適化研究の実施

・これまでに構築したインフラとノウハウを活用して、ライブラリーのスクリーニング等を支援

【次世代天然物化学技術研究組合】
・世界最大級の天然化合物ライブラリー

創業等ライフサイエンス研究支援基盤事業【創業連携研究機関】

我が国の大学等の優れた基礎研究の成果を医薬品等としての実用化につなげるために、創業等のライフサイエンス研究に資する高度な技術や施設等を共用する創業・医療技術支援基盤を構築して、大学・研究機関等による創業等の研究を支援する。

平成26年度予算 要求額 38.9億円
(平成25年度予算額:31.2億円)

＜創業基盤技術開発＞

先端的基盤開発研究(創業基盤推進事業)

平成26年度予算 要求額 58.8億円(平成25年度予算額:61.8億円)

臨床応用基盤研究(医療技術実用化総合研究事業(臨床研究・治験推進研究))

我が国の大学等の優れた基礎研究の成果を医薬品等としての実用化につなげるために、医師主導治験を始め、大学等によるコンパニオン診断薬及び既存薬と難病・希少疾病等を関連付けるためのエビデンス構築(ドラッグ・リポジショニング)に係る研究等を支援。

革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発

我が国のバイオ医薬品の国際競争力を強化するため、以下のような「次世代バイオ医薬品技術開発」を実施し、5年以内に世界初の次世代バイオ医薬品のシーズ設計・創出技術を企業等へ移転

細胞内標的を創薬ターゲットとする技術、低分子化、特定の組織・細胞への送達技術、エピジェネティクス制御技術、核酸医薬の高活性化及び安定性向上等、糖鎖構造の制御技術等

平成26年度予算 要求額 6.0億円
要望額 9.0億円
(平成25年度予算額:0.0億円)

次世代治療・診断実現のための 創業基盤技術開発事業

高品質かつ低コストバイオ医薬品製造技術

低コスト医薬品シーズ探索技術

低侵襲サンプリング診断技術

平成26年度予算 要求額 60.0億円
(平成25年度予算額:0.0億円)



連携
協力

実用化

＜その他創業関連＞

審査の迅速化、質の向上と安全対策の強化(再掲)

最先端技術を用いた革新的医薬品について、その適切な評価方法を開発し、実用化への道筋を明確化するなどに資する研究を推進

平成26年度予算 要求額 5.5億円
要望額 3.1億円
(平成25年度予算額:5.5億円)